

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 放課後等デイサービス ラボこっしー

2025年3月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		人数が多い日の集団活動はみんなの部屋と機能訓練室に分けるなどの工夫を行っている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・子供の状態に合わせて担当を話し合っていて決めている。 ・人員基準が1:5に対して、1:2~3で配置している。	事業所内で支援前に打ち合わせを行い、支援後にはフィードバックの時間を設け、その日の情報共有をしながら、チームとして連携やフォロー出来るようにしている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	・活動によって場所を分けたり、トランジションエリアを設けて、利用児自身が各場所に視覚的にわかるように整備されている。 ・段差がある個所は注意書きを貼っている。スタッフと一緒に入室するように決めている。	段差を上る際や階段昇降時は声かけや手すりを持って降りる等の対応をしている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・毎日掃除を行っており、清潔を保っている。 ・感染症対策のため、次亜塩素酸ナトリウムでの掃除を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・個室や個別ブースがあり、必要に応じて使えるようにしている。 ・静養室を設け、いつでも休憩できる環境を提供している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		支援前にスタッフ全員で、前日の振り返りとその日に気を付ける事、試みる事などを話し合う時間を設けている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年に一回の保護者アンケートの結果をもとに話し合いを行い、業務内容の改善に努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・毎年労働者会議が行われている。 ・必要に応じて、代表との打ち合わせを実施している	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		実地指導の助言を基に、業務改善に繋げる。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		法人内で定期的に研修を行ったり、外部の研修を受講したりしている。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		2ヶ月前にユニット会議で確認を行い、利用希望を受付開始する際にはHUGアプリにてプログラムを公開している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		Vineland IIやNCを使用したり、普段の様子から課題や芽生えを観察したりして、個別支援計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		年間担当の職員でケア会議を行って個別支援計画を作成し、必要に応じて他の職員にも意見を求めている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		ケース記録を開いた際に個別支援計画が見えるように工夫しており、計画に沿った支援を行えるようにしている。	

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		Vineland IIやNCを使用したり、普段の様子から特性シートを作成したりして確認している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		本人支援については、5領域の視点を踏まえて設定されている。移行支援については、個別支援計画を作成するうえで、卒後のイメージも持ちながら必要なスキルを考え計画に加えるようにしている。家族支援や地域連携については、必要に応じて対応できるよう、個別支援計画に内容を記載している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		事業所内で毎月会議を行い、プログラム内容について立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・毎年年間プログラムの見直しを行っている。 ・制作や手芸、書道などは季節に応じたものを検討し、内容を変えている。 ・プログラム公開前に事業所内で話し合いを行い、具体的なプログラム内容を検討している。 	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		集団活動と自立課題（個別活動）を想定して個別支援計画を作成している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日、前日のフィードバックとその日の動きなどを確認し、連携して支援を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		遅くとも翌日までには振り返りを行い、職員間で情報共有を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		ケース記録に結果だけでなく気付いたことや次に試みた方がいいことも記入し、改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・半年に一回、モニタリングを行って計画の再検討を行っている。 ・計画内容については保護者にも確認を行っている。 	
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		毎年4月にガイドラインの確認を行い、4つの基本活動を組み合わせプログラムを検討し、支援を行っている。		
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		利用児に分かる形（言葉やジェスチャー、絵カード、指差しなど）で選択肢を出して尋ねることで自己選択や自己決定する機会の提供を行ったり、合意形成を行ったりしている。		
関係	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		利用児の年間担当を決め、その人が参画するようにしている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		地域の協力医療機関を設けている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		万が一お迎えが遅れる場合は学校に連絡を行っている。必要に応じて、お迎え時に情報交換を行ったり、関係機関連携を行ったりしている。	相談支援事業所を活用しながら、学校をはじめとする関係機関連携の提案などを行っていきたい。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		・小学1年生の利用児がいない為、直接就学前の施設との連携はとっていないが、引継ぎシートがある場合は活用している。	

機 関 や 保 護 者 と の 連 携	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		引継ぎシートを作成し、保護者から次の事業所へお渡しいただくように情報提供している。		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		地域の児童発達支援センターが主催している研修に参加している。		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。		○		直接交流する機会は設けていないが、外出行事にて他の子どもと関わることがある。	
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。		○		現在、自立支援協議会への参加は行っていないが、今後検討していきたい。	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			お便り帳メールにてその日の状況をお伝えし、状況に応じて送迎時に直接お伝えしたり、家族支援の機会を設けて情報共有したりしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			定期的に「おやこっしー」を開催し、保護者も研修を受ける機会を設けている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			契約の際に、契約書に沿って説明を行っている。	
保 護 者 へ の 説 明 等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			・本人や保護者の意向や現状の課題、強み、芽生えなどを考慮し、個別支援計画を作成している。 ・モニタリング面談時や面談前に、意向の確認を行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			モニタリング面談の際、説明と同意をもらいサインを頂いている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			相談を受けた際は、助言や情報の共有を行ったり、必要に応じて家族支援を行ったりしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○			定期的に「おやこっしー」を開催し、保護者同士で交流する機会を設けている。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			苦情があった際は速やかに法人代表に報告を行い、迅速かつ適切な対応を心掛けている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○			活動や行事予定に関しては、システムにて保護者へ公開している。	活動内容や訓練の様子等がより伝わるように、Facebookでの発信を増やしていきたい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			・クラウド上に名前や記録等を上げる際は、伏字にするなどして個人情報の取扱いに留意している。 ・保存している媒体は持ち出さず、鍵のかかるキャビネットに保管している。	

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・利用児の理解度に合わせて文字、絵カード、ジェスチャー等使い分け、なるべく配慮を行っている。 ・保護者とは、お便り帳を用いたり、送迎時にコミュニケーションをとれる様にしている。 	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の行事に招待したことはないが、地域交流や地域清掃を実施したり、送迎や散歩ですれ違う際は挨拶を行ったりしている。 	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・各種マニュアルを用意しており、毎年マニュアルの見直しを行い、更新している。 ・避難訓練では、ご家族への連絡も含めて実施した。 	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・毎年BCPと防災マニュアルの見直しを行い、年間計画の下、避難訓練を定期的に行っている。 	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・服薬調査を年に一回実施し、変更があった場合には再度申請してもらっている。 ・てんかんがある利用児に対しては、送迎時に学校や保護者と情報共有をしている。 	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・事前にアレルギーの確認を行い、アレルギー対応表を作成している。 ・おやつ提供やクッキングの際は確認して提供している。 	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全研修やAED研修などを行っている。 ・毎月、交通安全の目標を話し合っ決めていく。 	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者への連絡も含めた大規模避難訓練を実施している。 	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・病院受診の有無を問わず、他害や物損があった際には、再発防止に向けてその日のうちに話し合いを行い、ヒヤリハット報告書を作成している。 ・作成後は各事業所にも共有している。 	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・毎年虐待防止研修を行っている。 ・虐待防止委員会も実施した。 	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・万が一やむを得ず身体拘束を行う場合は、切迫性、非代替性、一時性の3つの要件が満たされている事を必ず確認するよう、職員への研修、周知を行っている。 ・現在、身体拘束を行う対象児はいない。 		